

30th
ANNIVERSARY

JAPAN INTERNATIONAL DIE & MOLD MANUFACTURING TECHNOLOGY EXHIBITION

INTERMOLD® 2019

金型展2019

Die & Mold Asia 2019

出展のご案内

2019年4月17日(水) → 20日(土) 10:00 → 17:00
※ただし最終日は16:00まで

東京ビッグサイト 青海展示棟 〒135-0064 東京都江東区青海1丁目2番33他

<http://intermold.jp> ■主催/一般社団法人日本金型工業会 ■運営/インターモールド振興会

併催展

JAPAN METAL STAMPING TECHNOLOGY EXHIBITION

金属プレス加工技術展2019

■主催/一般社団法人日本金属プレス工業協会

金型・金属プレス加工技術に関する専門見本市

日本の製造業を支えるサポートインダストリー

『ものづくり基盤技術』として欠かすことのできない金型と金属プレス加工技術を中心に、最先端の素形材産業の情報を発信します。



日本の『高度な金型技術力』の継続的な発展と将来のためにできることを提案

今後予想される世界の金型需要拡大において、国際競争力の強化は不可欠です。製品の安全性向上、軽量化、高機能化など、製品の形状化から商品化、量産化において金型産業に求められる役割は重要です。

設計・試作から加工、仕上げ、成形、メンテナンスなど一連の工程を集約させた展示を行います。

サポートとサービスの強化

金型の設計

金型の製造

金型の修理・保全

金型の改善

主な出展物

- 金型製造技術(工作機械、放電加工、切削・研削、仕上げ加工、周辺装置)
- ロボット、自動化装置、省力化装置
- 切削工具
- 機械工具、研磨、砥石
- ツーリング・工具保持具、治具
- 金型設計
- CAD/CAM/CAE
- 測定器、計測器
- 試作・モデリング
- 金型、成形サンプル
- 洗浄、補修、メンテナンス
- 金型材料、鋼材、金型部品
- 成形材料
- 精密仕上げ、バリ取り、研磨加工
- 生産管理システム
- 熱処理、表面処理、表面改質
- 油剤、ケミカル製品
- 各種部品加工技術など
- 3Dプリンター、アディティブマニュファクチャリング(金属積層造形、樹脂積層造形 他)
- 各種成形加工(金属プレス加工、プラスチック成形、ゴム成形、ガラス成形、鍛造、鑄造、ダイキャスト)

金型・金属プレス企業の競争力強化ソリューションを提案

本展は工作機械や周辺機器等の出展企業による加工実演や操作デモが積極的に行われています。

素形材産業《金型・金属プレス加工》の専門見本市での、具体的なソリューション提案により、目的意識の高い来場者との確度の高い商談が期待できます。

各素形材関連団体や自動車・航空機部品などの協力団体による特別展示や関連セミナーの開催、3Dプリンターなど次世代製造技術に関する企画展示により、異業種・異分野との交流も積極的におこなっております。

海外パビリオンの誘致や海外商談会の開催、海外展示会とのコラボレーションにより海外進出の支援も行っています。



中小企業への具体的な設備投資提案

- 金型技術力の高度化
- 製造モジュールの複雑化、モジュール発注の増加への対応
- 部品の小型化・一体化・複雑化への対応
- 開発アイデアの形状化・機能化・商品化
- 内製化、外注化への対応
- 設備投資の選択と集中
- 利益率の向上、高生産性化、自動化、省人化
- 5軸加工の実用化提案
- IoT、Industry4.0の具体的な提案

中小企業・小規模事業者の高付加価値技術の強化

- 「メイド・イン・ジャパン」ブランドの販路拡大
海外市場への展開・進出の支援
異業種・異分野との交流
高度技術の転用、周辺分野への参入
高精度・高機能・高性能部品・部材
- ジャパンブランド金型
「金型マスター制度」
世界での競争力強化、見える化、可視化
- 人材育成・事業継承・産学連携
次世代金型リーダーの育成

主な来場者

- 金型メーカー、成形加工メーカー、金型・成形兼業、部品加工メーカー、商社
- プレス金型、鍛造金型、鋳造金型、ダイカスト金型、ガラス金型、プラスチック金型、ゴム金型、ブロー金型、粉末冶金金型ほか
- 経営・経営企画、購買、営業・販売、研究・開発、設計、製造、生産技術、生産管理、品質管理、情報システム、マーケティング、総務・経理
- 自動車・自動車部品関連、半導体・電子機器関連、家電・通信機器関連、食品・医療・バイオ関連、商社関連、航空・宇宙関連、文具、玩具、建設・建材、研究・教育、公社・官公庁

金型・金属プレス加工技術 素形材産業の専門見本市

+α の提案

金属プレス加工技術展を併催

素形材産業を中心に関連団体の協力企画も併催し、自動車・航空機、電気・電子機器などの大手メーカーやティア1などの製造部門関係者の来場誘致を行い、あたらしいビジネスマッチングを創出します。

金型の製造+改善する技術

設計・試作、加工、仕上げ、成形、メンテナンスなど一連の工程を集約させた展示。

金型の設計・製造から、修理・保全を行うサポートインダストリー技術の提案。

さらに量産現場における高生産性、利益率向上への対応などサポート+サービスの技術力アップを提案します。

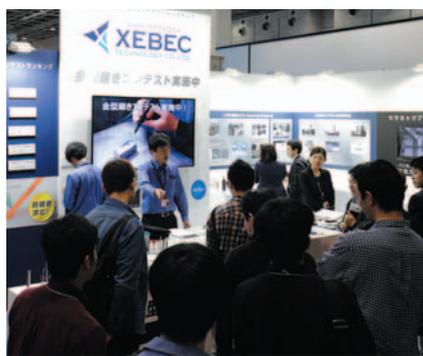
- 試作・デザイン・解析&3Dプリンティングフェア
- 精密仕上げ加工&バリ取り・研磨加工技術フェア
- 熱処理・表面処理フェア 洗浄・補修&メンテナンス

素形材関連団体の特別協力企画

- 鍛造加工技術フェア
- 自動車部品製造技術フェア
- 航空機部品製造技術フェア



次世代製造技術の提案



基調講演・特別講演・各種セミナーの開催

前回(2018年4月)の開催内容

基調講演

『ダイハツ流コンパクトカーづくりの本質と進化(深化) ～経営者として学んだこと、これからへの想い～』

ダイハツ工業(株) 取締役会長 三井 正則 氏

金属プレス加工技術展 特別講演

主催:(一社)日本金属プレス工業協会

『自動車生産の最新事情と将来を探る』

企画・総合司会:東京大学 名誉教授 工学博士 中川 威雄 氏

『電動化と知能化が拓くインテリジェントモビリティの時代』

日産自動車(株)フェロー 久村 春芳 氏

『環境保全・安全・快適さを追求する自動車を支える 車体用材料とその成形技術』

(元)理化学研究所 工学博士 林 央 氏

『注目集まるインド自動車産業の最新動向』

東京大学 大学院 経済学研究科 ものづくり経営研究センター
特任研究員 伊藤 洋 氏

自動車部品製造技術フェア 特別講演会

『自動車技術革新による産業への影響』

(一社)日本自動車部品工業会 技術担当顧問 松島 正秀 氏

試作・デザイン・解析&3Dプリンティングフェア 特別講演

特別協力:オートデスク(株)

『開発・製造プロセスに変革をもたらすAIおよび 最新技術動向と活用事例』

オートデスク(株) デジタルマニュファクチャリンググループ
アジアパシフィック担当ディレクター 辻野 浩司 氏

(一社)日本鍛造協会 特別セミナー

『パワートレイン商品の将来動向と、期待される技術 (Game Changeを起こす生産技術)』

日産自動車(株) パワートレイン生産技術本部 パワートレイン技術企画部
パワートレイン新商品工法開発 エキスパートリーダー 塩飽 紀之 氏

刀鍛冶プレゼンテーション『日本刀に生きる』

刀工 高見 太郎 國一 氏

航空機部品製造技術フェア 特別セミナー

主催:まんてんプロジェクト

『民間航空機産業の現状と今後の展開』

川崎重工(株) 社友 榊 達朗 氏

『まんてんプロジェクトの取り組みと今後の展開』

まんてんプロジェクト 専務理事 愛 恭輔 氏

精密仕上げ加工&バリ取り・研磨加工技術フェア 特別セミナー

『マシニングセンタでのバリ取り・研磨の自動化』

バリ取り大学 理事長 (株)ジーベックテクノロジー 代表取締役社長
住吉 慶彦 氏

『バリ取り・研磨 実践公開討論会』

(株)不二製作所 開発部 主任 内海 裕介 氏
(株)スギノマシン 精密機器事業本部 生産統括部 応用開発部1課 課長 光江 豊彰 氏
メイホー(株) 生産技術室 室長 中西 元気 氏
(株)ジーベックテクノロジー 営業部 セールスマネージャー 赤尾 友和 氏

(一社)日本工作機械工業会 特別講演会

『工作機械ユーザ向けメンテナンス講習会』

東京理科大学理工学部非常勤講師
(一社)日本工作機械工業会 サービス部会長 小島 輝一 氏

(一社)日本金型工業会 西部支部4月勉強会

『欧米の金型技術及び金型産業情報』

(株)牧野フライス製作所 マーケティング部 マーケティング課
スペシャリスト 山本 英彦 氏

金型シンポジウム

『関西の金型業界の現状と今後を検証する』

主 催:(一社)日本金型工業会・(一社)金型協会
特別協力:日本工作機械販売協会
総合司会:タイ国裾野産業連合会 顧問 前川 佳徳 氏(元型技術協会 会長)
パネラー:(一社)日本金型工業会 会長 牧野 俊清 氏
(一社)日本金型工業会 副会長 西部支部長 山中 雅仁 氏
(一社)金型協会 代表理事 永田 淳也 氏
日本工作機械販売協会 副会長 赤澤 正道 氏

第10回学生金型グランプリ

『~次世代のモノづくりを担う学生達による金型製造技術の披露~』

【参加大学】

岩手大学 / 大分県立工科短期大学校 / 大阪工業大学 / 岐阜大学 /
近畿大学 / 大連工業大学 / 山形県立産業技術短期大学校

出題テーマ:プレス型課題【PLATE】

プラスチック型課題【バックルのアウター/インナー】

出展者への提供サービス 事務局では出展効果を高める為に、各種サービスを強化しています。

1 出展企業の紹介を開催前から当日までバックアップ

- 公式ガイドブックへの会社情報・出展内容紹介掲載
- 公式サイトへの会社情報・出展内容紹介掲載
- 展示会案内リーフレットへの社名や小間位置掲載

2 来場動員ツールを作製し希望数を無償提供

- 展示会案内リーフレット(招待券機能付き)の無償提供
 - 招待券ハガキの無償提供
- ※但し、事前申し込み以降の追加希望は在庫限りの対応となります。

3 重要顧客へのサービス提供

- VIP来場者登録
- VIPラウンジの使用

4 業界紙誌やSNSなどを通じた情報発信

- プレスリリースでの情報発信
- 関連業界紙誌での広告企画
- メール配信での情報発信
- SNSでの出展内容紹介
- 海外アライアンス展示会での情報発信

5 展示会場内に設置するセミナー会場での プレゼンテーション

- テクニカル・ワークショップ開講(有料)
- オープンセミナー開講(有料)

6 出展者スタッフへのドリンクサービス

- 開催期間中、出展企業スタッフへ毎朝ドリンクを提供

2018年 開催実績(大阪)

開催データ

■ **開催概要** ※下記概要データは同時開催3展を合計

名称	INTERMOLD 2018(第29回 金型加工技術展) 金型展2018
併催	金属プレス加工技術展2018
会期	2018年4月18日(水)~21日(土)10:00~17:00(最終日は~16:00)
会場	インテックス大阪(〒555-0034 大阪市住之江区南港北1-5-102)
出展規模	380社・団体 881小間
来場者数	44,179人

■ **来場者数** ■ インターモールド 31,077人 ■ 金属プレス加工技術展 6,130人
■ 金型展 6,186人 ■ VIP 786人

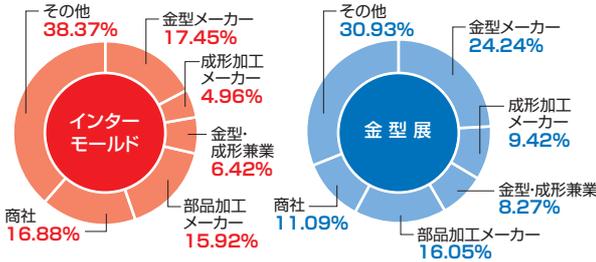
■ **来場者の地域分類** ※各項目の「比率」は小数点第二位までを表示

北海道地区	北陸地区	中部地区	中国・四国地区	海外
0.13%	2.82%	12.12%	9.00%	4.23%
0.17%	3.35%	12.88%	7.03%	3.57%
0.18%	1.66%	12.36%	6.09%	1.70%
東北地区	関東地区	近畿地区	九州・沖縄地区	不明
0.67%	8.33%	60.83%	1.85%	0.03%
0.50%	6.64%	63.63%	2.23%	0.01%
0.36%	6.32%	69.84%	1.48%	0.02%

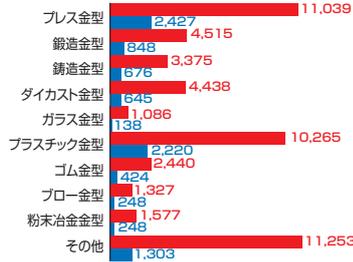
■ **海外来場者の地域** | 合計1,639人(3展合計)

韓国、中国、台湾、UAE、アメリカ、イタリア、インド、インドネシア、エジプト、オーストラリア、ガーナ、カメルーン、シンガポール、スイス、タイ、チエコ、ドイツ、トルコ、ネパール、パキスタン、フィリピン、ベトナム、ペルー、ポルトガル、マレーシア、メキシコ

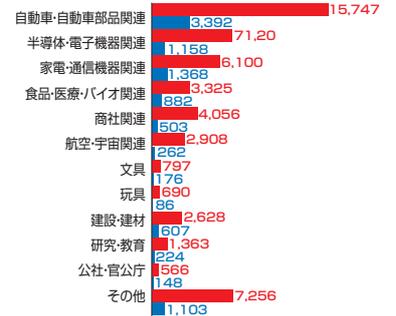
■ **来場者業種分類** ※各項目の「比率」は小数点第二位までを表示



■ **分野属性①** ※下記数字は回答数を表示 ※複数回答有り



■ **分野属性②** ※下記数字は回答数を表示 ※複数回答有り



出展者一覧

INTERMOLD 2018

- ア** INSいわて金型研究会
アプラインデザイン株式会社
株式会社アマダマシンツール
株式会社アルプツール
イースタン技術株式会社
株式会社イエスレーザージャパン
イソカルジャパン株式会社
株式会社イチダチ
株式会社イワタツール
インターナショナルダイヤモンド株式会社
ヴェロノフトウェア株式会社
株式会社ウチノ
株式会社Ailソリューションズ
NKワークス株式会社
エヌティーツール株式会社
榎本機工株式会社
株式会社MSTコーポレーション
株式会社エムトピア
ORレーザージャパン株式会社
オーエスジー株式会社
オークマ株式会社
OKK株式会社
オートデスク株式会社
オープンマインドテクノロジー/ジャパン株式会社
株式会社オカノプラスト
株式会社岡本工作機械製作所
カールツァイス株式会社
カ 一般社団法人型技術協会
株式会社ササヤマ
ダイジエツ工業株式会社
株式会社チッキョー
友鉄工業株式会社
南海鋼材株式会社
株式会社ハヤシ
パルステック工業株式会社
株式会社金型新聞社

- 河新株式会社、株式会社クリンピー
株式会社関西石油製品販売
株式会社キーンエス
株式会社キア
キタムラ機械株式会社
キヤノン電子株式会社
キャムタス株式会社
福東技研工業株式会社
株式会社空調服
KFカーバ(イ)ドジャパン株式会社
コダマコーポレーション株式会社
株式会社Cominix(旧社名 大阪工機株式会社)
株式会社サイバーRC
榮製機株式会社
株式会社サンアイ精機
三和商工株式会社
株式会社C&Gシステムズ
GFマシニングソリューション株式会社
株式会社ジーシーティ
株式会社CGTech
株式会社ジーベックテクノロジ
JKTGエネルギー株式会社/株式会社ENEOSサンエナー
JKリエイト株式会社
株式会社JSOL
株式会社ジービーエム
四変テック株式会社
シュモルツヒッケン/パハジャパン株式会社
Deutsche Edelstahlwerke Speciality
Steel GmbH & Co. KG
FINNK STEEL
株式会社シルバーロイ
株式会社新三協工具
株式会社SCREENホールディングス
株式会社スリーエー産業
西部電機株式会社
株式会社セイロジャパン
双和化成株式会社
株式会社ソディック

- ソマックス株式会社
ダイジエツ工業株式会社
大昭和精機株式会社
タイコ株式会社
多賀電気株式会社
TASKMATE
伊達機械株式会社
株式会社タンガロイ
ZOLLER Japan株式会社
DMG森精機株式会社
株式会社データデザイン
株式会社テクノア
テクノコート株式会社
株式会社東京精密
トクシ技研株式会社
株式会社戸田精機
株式会社ナガセインテグレックス
中日本工業株式会社
浪速鉄工株式会社
株式会社ナノソフト
日刊工業新聞社
株式会社日研工作所
日工機材株式会社
日進工具株式会社
日東工業株式会社
日本アイ・ティ・エフ株式会社
日本工業出版株式会社
一般社団法人日本自動車部品工業会
株式会社神戸製作所
三和パッキング工業株式会社
株式会社リブ・ワークス
一般社団法人日本鍛造協会
株式会社イチタン
株式会社大智鍛造所
近江鍛工株式会社
株式会社コーシュー
サムテック株式会社
東福鍛工株式会社

- 浪速鉄工株式会社
北陸工業株式会社
万能工業株式会社
株式会社ミヤジマ
株式会社メタルアート
ハル工業株式会社
独立行政法人日本貿易振興機構(ジェトロ)
ノガシヤパン株式会社
ハイウィン株式会社
ハイマージャパン株式会社
株式会社 橋本テクノカ工業
ファナック株式会社
フクロージャパン株式会社
株式会社不二製作所
富士ダイス株式会社
不二電子工業株式会社
株式会社プラスコーポレーション
ブルーノ/ポテスト株式会社
株式会社ポイントナイン
ボンダスジャパン株式会社
マーテック株式会社
マルボス株式会社
株式会社牧野フライス製作所
有限会社丸ノリソリューション
まんでんプロジェクト
有限会社オービタルエンジニアリング
株式会社国分精工
新日産ダイヤモンド工業株式会社
鈴幸商事株式会社
大同工業株式会社
株式会社テクトレージ
株式会社東栄超硬
株式会社トクビ製作所
株式会社中野製作所
有限会社野島製作所
株式会社 阪神メタルックス
株式会社 明和工作所
コシロ化学工業株式会社

会場レイアウト / インテックス大阪 (2018年)



- ヤ**
- 有限会社三井刻印
 - 三井精機工業株式会社
 - 株式会社ミツヨ
 - 三ツ引興業株式会社
 - 三菱重工工作機械株式会社
 - 三菱電機株式会社
 - 三菱日立ツール株式会社
 - モニター株式会社
 - 株式会社メトロール
 - 株式会社本山山金製作所
 - ヤマザキマザック株式会社
 - 株式会社ヤマテック
 - 株式会社ユーロテクノ
 - ユニオン ツール株式会社
 - ユニリス株式会社 / 株式会社ロボテック
 - 吉川精密株式会社
 - ヨシカワメイル株式会社
 - 株式会社ルッドリフティングジャパン
 - 緑々産業株式会社
 - YKT株式会社

- 金型展 2018**
- ア**
- 株式会社井口機工製作所
 - 永和ワールド株式会社
- タ**
- 株式会社東洋プレジジョン
 - 一般社団法人 日本金型工業会
 - 株式会社S DESIGN
 - アイデオ株式会社
 - 明石プラスチック工業株式会社
 - 株式会社旭プレジジョン
 - 池上金型工業株式会社
 - 株式会社イケックス工業
 - 株式会社井上製作所
 - 株式会社伊吹機械
 - 株式会社内山精工
 - 株式会社イー・エム・シー
 - 大垣精工株式会社
 - 大森クローム工業株式会社
 - 株式会社キメラ
 - 株式会社協和精機製作所
 - 株式会社ケイプラスモールドジャパン
 - 株式会社駒井工作所
 - 株式会社三誘ファインツール
 - 株式会社サン精機
 - JFE精密株式会社
 - 株式会社シグマ
 - 聖徳ゼロテック株式会社
 - 株式会社湘南サンライズ工業
 - 株式会社新日本テック
 - 株式会社鈴木
 - 株式会社セントラルファインツール
 - 株式会社タカノ
 - 株式会社テクノクラーツ
 - 東洋金型工業株式会社
 - 株式会社長津製作所

- 中江金型工業株式会社
- 株式会社ナガラ
- 株式会社名古屋精密金型
- 日進精機株式会社
- 野田金型有限会社
- 橋場鐵工株式会社
- 株式会社橋本工業
- 日嶋精機株式会社
- 福井精機工業株式会社
- 株式会社藤岡エンジニアリング
- 扶桑精工株式会社
- 株式会社ベッカー精工
- ベントム工業株式会社
- 株式会社松永特殊溶接
- 株式会社松野金型製作所
- 株式会社ミスズ
- 株式会社三井ハイテック
- 株式会社三幸
- 株式会社ムトウ
- 株式会社ヤマナカコーキン
- 有限会社吉中精工
- 株式会社リ川イシカフ
- 株式会社ワークス
- 若園精機株式会社
- 株式会社日立製作所
- 株式会社ユーロテクノ
- 株式会社ヨコハマシステムズ
- 理邦精密株式会社

- 金属プレス加工技術展 2018**
- ア**
- アートウインズシートメタル株式会社
 - アクア化学株式会社
 - 伊藤金属株式会社
- カ**
- 株式会社ゲートジャパン
 - コアテック株式会社
- ナ**
- 一般社団法人日本金属プレス工業協会
 - 相栄産業株式会社
 - 朝田金属工業株式会社
 - 飯田金属工業株式会社
 - 株式会社カサタニ
 - カナエム工業株式会社
 - 株式会社関西ブレック
 - 株式会社関西ブレック
 - 協同組合京都府金属プレス工業会
 - 株式会社キョーワハーツ
 - 株式会社阪口製作所
 - 株式会社ジェイアンドシー
 - 株式会社シミズプレス
 - 正栄工業株式会社
 - 株式会社先端科学シミュレーション研究所
 - 株式会社そうぎょう
 - 株式会社大喜金属製作所
 - タイメック株式会社
 - 太陽工業株式会社

- ハ**
- 株式会社タイオーアクリス
 - ダイブ精密プレス株式会社
 - 株式会社千代田工業所
 - 株式会社寺方工作所
 - 株式会社西村技研
 - 株式会社ハヤシ
 - 株式会社日立システムズ
 - ヒルタ工業株式会社
 - プレテック株式会社
 - 株式会社平安製作所
 - 株式会社三雲製作所
 - 株式会社三井三池製作所
 - モリマンナリー株式会社
 - 柳下技研株式会社
 - 株式会社山岡製作所
- マ**
- 日本メカニカル株式会社
 - 富士金属株式会社
 - 株式会社三雲製作所
 - 三星工業株式会社
 - 潮川王冠株式会社
 - 株式会社理研計器奈良製作所

- 海外**
- 安陽锻压数控设备有限公司
 - asiamad
 - BLUECORE Co., Ltd.
 - BoGeum M&P Co., Ltd.
 - Bucheon Industry Promotion Foundation
 - CCPIT MSC & CDMIA
 - Changhong Technology CHT
 - Changsha Borun Mould Co.,Ltd
 - Daewang System, Inc.
 - 大連金型工業団地弁公室
 - 蘇州市吳中区直道大進精密五金製品会社
 - Dongguan Baishun Precision mold CO.,LTD.
 - Dongguan CTS Solution Co., Ltd.
 - Dongguan DOP Precision Electronics Co., Ltd.
 - Dongguan Gauzhen Precision electronic technology co.,LTD
 - Dongguan Guli Precision Mould Co.,Ltd.
 - DongGuan HongGao Precision Mould Co., Ltd
 - Dongguan Hongyan Precision Mould Co., Ltd
 - Dongguan JunYu Precision Mould Co., Ltd
 - Dongguan Kaisinn Precision Mould Co.,LTD
 - 東莞市科富自動化科技有限公司
 - 東莞品一自動化科技有限公司
 - DONGGUAN QITAL PRECISION MOULDS CO.LTD
 - Dongguan SS-JMP Tooling Co., Ltd
 - 東莞市湘南精密模具有限公司
 - Dongguan Weilai Precision Automatic Equipment Co., Ltd.
 - Dongguan East Pioneer Mould Co.,Ltd
 - ES Asia Technologies LLP
 - 東莞市豐研精密模具有限公司
 - FORWA PRECISE PLASTIC MOULD CO., LTD
 - Gokom Precision Mould Co., Ltd

- 海外**
- Gold Array Technology Beijing LLC
 - Hong Xing Abrasive Technology Co., Ltd
 - HONGYU MOLD LIMITED
 - IJS Co., Ltd.
 - ILWOO PRECISION Co., Ltd.
 - IAMZ Software, Inc.
 - IN-TECH Co., Ltd.
 - IPEC High Precision inc.
 - JAEOYOUNG SOLUTECH Co., Ltd.
 - Jin Hwo Yeng Enterprise Co., Ltd
 - JT SOLUTION
 - JukWang Precision Co., Ltd.
 - Korea Die & Mold Industry Cooperative
 - KYENG
 - Lead Smart Electronics (HK) Ltd
 - LEKIN MOULD (HK) CO., LTD
 - MDT Co., Ltd.
 - 漢達精密電子(昆山)有限公司
 - Mould Eurasia
 - MOULDING EXPO-Stuttgart
 - MouldLao WUXIN
 - NAMSUN MACHINERY CORPORATION.
 - NCB Co., Ltd
 - Ningbo Ningsheng International Co., Ltd.
 - NTA TRADING CO., LTD.
 - QINGDAO BEITONG INDUSTRIAL CO.LTD
 - QINGDAO YINGZHAN MECHANICAL SCIENCE AND TECHNOLOGY CO.,LTD
 - SAMKI CORE Co., Ltd.
 - Sangchon Int'l Co., Ltd.
 - Sangick Engineering
 - SanJing Precision Mold
 - SEONG MIN ENGINEERING
 - Shanghai Chief Land Electronic Co. LTD
 - Shanghai Golden-Maker Mold & Plastic Technology Co., Ltd.
 - Sinheung Precision Co., Ltd.
 - 蘇州華科精密金型有限公司
 - Suzhou Mingshuo Precision Machinery Co., Ltd
 - SW MoldTech Co., Ltd.
 - SWUN CHYAN ENTERPRISES CO., LTD.
 - TAIYU PRECISION MACHINERY CO., LTD.
 - Tech Leader Industrial Co., Ltd
 - TIANJIN KYOUEI MOULD CO.,LTD
 - TRADE LINK ITE SDN BHD
 - 深圳天麟精密模具有限公司/TSPプレジジョン株式会社
 - YYLO
 - Watton mould Co.,Ltd
 - Won Jin Precision Co., Ltd.
 - WUOSUNG HIGH TECH CO., LTD.
 - Wujiang Xiangshi Mould Co.,Ltd
 - XIAMEN DOOWELL PRECISION MOULD CO., LTD
 - YHB ECO INC.
 - YOLGAR M&T INC.

開催概要 / 出展料金 / 申込方法

開催概要

名称	INTERMOLD 2019(第30回金型加工技術展) / 金型展2019
会期	2019年4月17日(水)~20日(土) 10:00~17:00 ※最終日は16:00まで
会場	東京ビッグサイト 青海展示棟 (〒135-0064 東京都江東区青海1丁目2番33他)
主催	一般社団法人日本金型工業会
運営	インターモールド振興会(テレビ大阪エクスプロ内)
公式サイト	http://intermold.jp
同時開催	金属プレス加工技術展2019(主催:一般社団法人日本金属プレス工業協会)
予想来場者数	50,000人(同時開催展を含む)
入場料	1,000円(招待券持参者および事前来場登録者は無料)
後援	経済産業省、外務省、東京都、独立行政法人日本貿易振興機構、東京商工会議所、日本経済新聞社(順不同 / 申請予定)
協賛	一般社団法人日本工作機械工業会、一般社団法人日本鍛圧機械工業会、日本工作機械輸入協会、一般社団法人日本金属プレス工業協会、日本精密機械工業会、日本機械工具工業会、一般社団法人日本鍛造協会、一般社団法人日本工作機器工業会、日本精密測定機器工業会、日本光学測定機工業会、ダイヤモンド工業協会、一般社団法人型技術協会、日本プラスチック機械工業会、一般社団法人日本ダイカスト協会、一般社団法人日本塑性加工学会、一般社団法人日本機械学会、公益社団法人精密工学会、一般社団法人日本自動車部品工業会、一般社団法人日本鋳造協会(順不同 / 申請予定)

出展規程

出展料金

種別	Aタイプ	Bタイプ
一般	320,000円 (出展料金)+消費税	390,000円 (出展料金)+消費税
会員	300,000円 (出展料金)+消費税	370,000円 (出展料金)+消費税
※会員価格は一般社団法人日本金型工業会正会員のみ適用		

角小間指定料

50,000円+消費税(1・2小間の申込者のみ対象)

小間仕様

サイズ / 間口約3m×奥行約3m×高さ2.7m(約9m²)
単列または複列を選択(複列は4小間以上の出展に限ります)

小間設備内容

Aタイプ(スペースのみ)

小間仕切りのパネルなどは一切装備されません。

Bタイプ(基本装備・設備付き)

ユニット・システムブースによる基本装備に電気設備と備品が装備されます。



Bタイプ設備内容(1小間あたり)

- 後壁(バック)、側壁(間仕切り)、バラベットのカーペット
- 社名文字(青色/角ゴシック体/15文字以内)
- 受付カウンター(1台)
- パイプイス(1脚)
- スポットライト(2灯)
- 蛍光灯(2灯)
- コンセント(300W/1個)
- 上記電気設備に関する幹線工事費用

※電気使用料金は別途出展者の負担となります。<参考> 前回開催時電気使用料: 1kwあたり2,000円(税別) >
※社名板、受付カウンター、パイプイスは小間数にかかわらず1台(脚)のみ装備されます。
※角小間の場合は通路に面する側壁は設置されません。

申込方法

1 下記「出展申込みサイト」より出展規程をご了承の上、お申込みください。
① <https://www.intermold.jp/application/>

なお、初めて出展する場合は、会社案内および出展製品のカタログを必ず提出してください。
出展申込みは、インターネットを通しての申込みとなります。
インターネット環境をお持ちでない場合は、事務局までお問い合わせください。

(重要) 重量物展示、および展示内容制限に関して

青海展示棟の規定により重量物を設置できない箇所があります。
重量物を展示予定の場合は、申込の際に必ず「予定あり」とチェックをして下さい。
また、展示会場での「危険物品の持ち込み数量制限」により、加工油剤(切削・放電など)などを含む危険物・可燃性固体・液体類の展示、放電加工機または工作機械内蔵油の展示などに制限が設けられる場合がございます。
出展を予定される場合は必ずこちらのチェックをお願いいたします。

2 出展申込みサイトで主な出展規程を確認いただけますので、内容を確認・ご承諾のうえ、お申し込みください。また、出展申込書を郵送される場合は、必ず控えを出展者にて保管してください。

3 出展内容が本展開催趣旨・目的に沿わない場合は、出展受付を保留またはお断りすることがありますのでご了承ください。
詳細は事務局までお問い合わせください。

4 出展申込数は1小間を単位とします。2小間以上の小間を申し込む場合、AタイプとBタイプを混在して申し込むことはできません。

5 申込出展者以外に共同出展する企業を表記する場合は、出展申込み後にご案内する「出展者専用ページ(Web)」にて共同出展者名をご登録ください。

申込締切日

2018年12月21日(金)

※ただし、満小間になり次第締切となります。

支払期日

請求書発行日の翌月末

- 出展申込手続き完了後、事務局が受理し、請求書を発行いたします。
- 出展申込手続き完了後、事務局受理日以降の出展申込の取消は出来ません。

※事務局からの請求により、出展料金を指定の銀行口座にお振込みいただけます。

出展対象

<p>■工作機械</p> <p>マシニングセンター、ターニングセンター、ドリリングセンター、各種研削盤、各種立削り盤、各種フライス盤、各種放電加工機、各種仕上げ機、各種複合加工機、各種旋盤、各種ボール盤、各種ぐり盤、モジュラユニット・専用機、自動組立機、特殊加工機械(レーザー加工機・電解加工機など)、金型自動磨き装置、その他</p> <p>■工作機器</p> <p>工作物保持具、工具保持具、付属品、部分品、付属機械(位置決めテーブル、切削処理装置、給油潤滑装置)、その他</p>	<p>■特殊鋼工具・超硬工具・ダイヤモンド工具</p> <p>工具材料、高速度鋼工具、超硬工具、ダイヤモンド及びCBN工具、サーメット工具、セラミック工具、その他機械工具</p> <p>■研削砥石・研磨材</p> <p>■精密測定器・光学測定機・試験器</p> <p>ノギス、マイクロメーター、ダイヤルゲージ、ブロックゲージ、ゲージ、三次元測定機器、形状・あざ測定機器、自動精密測定機器、投影機、金属顕微鏡、試験機器、その他</p> <p>■プレス機械</p> <p>サーボプレス、液圧プレス、機械プレス、</p>	<p>ペンディングマシン、剪断機、鍛造機・装置、線材加工機、各種塑性加工機、その他</p> <p>■プラスチック加工機械</p> <p>各種射出成形機、真空成形機、ブロー成形機、真空注型機、圧縮成形機、熱成形機、発泡成形機、押出機、押出成形装置、遠心成形装置、その他</p> <p>■プラスチック加工機械周辺機器</p> <p>および原材料・副資材など</p> <p>成形機械部品・付属装置、試験機・測定機、計器・コントローラ、二次加工機器、ロボット(取出機・インサート装置など)、原材料・副資材、成形サンプル(製品・半製品)、その他</p>	<p>■機械系・金型用 CAD/CAM/CAEシステム</p> <p>■造形システム(ラピッドプロトタイプングシステム)</p> <p>■試作・モデリング関連</p> <p>■FA関連機器・装置、NC装置、自動プログラミング装置</p> <p>■生産管理システム</p> <p>●各種金型</p> <p>プレス用、鍛造用、粉末冶金用、鋳造用、ダイカスト用、プラスチック用、ゴム用、ガラス用、窯業用など</p> <p>●成形サンプル</p> <p>●試作金型</p>	<p>●各種研究機関・工業会・組合など</p> <p>■金型材、金型部品、金型加工システム、金型表面処理、その他関連製品</p> <p>■金型周辺機器</p> <p>金型温度調節機、金型自動交換装置、金型内ガス抜き装置、金型反転機、金型冷却装置、ホットランナ装置、モールドベース、金型監視装置、金型補修機器、その他</p> <p>■金型メンテナンス関連</p> <p>■図書・文献・資料</p>
---	---	---	--	---

テクニカル・ワークショップ／オープンセミナー開催のご案内

プレゼンテーションセミナー（有料）

出展者の展示効果を高めるために、「出展者による新技術発表」「新製品PR」「ユーザーによる製品活用事例の紹介」など、様々な用途に応じて活用できるセミナースペース（有料）を設置します。開講を予定もしくは検討される出展者は、出展申込の際にセミナー開講希望欄にご記入ください。なお、開講希望の出展者には、改めて開講申込書をご提出いただけます。



テクニカル・ワークショップ

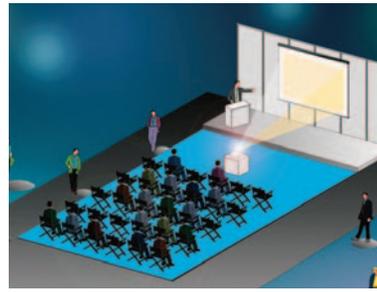
事前登録制、クローズド、オープン形式など、出展者が目的に応じて運営できるプレゼンテーションセミナーです。

製品・技術のPRセミナーとしてだけでなく、「ユーザー会」「新製品発表会」のほか、有料セミナー会場として利用することができます。

会場 東京ビッグサイト 会議室または会場内特設会場

定員 50~100名程度 ※スクール形式 開講料 1時間／60,000円（税別）

※プログラムは、事務局にて調整します。



オープンセミナー

展示ホール内に、オープン形式のセミナー会場を設けます。来場者は展示ブースを移動する間に、興味のあるセミナーを自由に聴講できます。新規顧客に対して、新製品・新技術のPRが可能となり、自社ブースへ誘導するチャンスにもなりますので、展示との相乗効果に期待できます。

会場 東京ビッグサイト 展示場内特設会場

定員 約30名（座席設置数。但し、立ち見も可能です） 開講料 45分／50,000円（税別）

時間延長は出来ません。

※複数のセッションを開講することも可能です。（複数開講値引き有り）
※プログラムは、事務局にて調整します。

テクニカル・ワークショップ 前回開講実績

大昭和精機株式会社

「5軸加工機および複合加工機におけるツーリングを考える」
営業技術部 次長 高見 隆文 氏

オーエスジー株式会社

「金型加工のイノベーション」
デザインセンター加工技術グループ 課長 今泉 悦史 氏
株式会社金型コンサル 会長 左甲斐 武久 氏

ユニオン ツール株式会社

「難加工を可能にするエンドミルシリーズのご紹介」
技術本部 工具技術部 エンドミル工具開発課 課長 大崎 英樹 氏

ダイジェット工業株式会社

「難削材、お待ちしております。」
技術部技術室切削工具開発課 津曲 達也 氏

株式会社C&Gシステムズ

「工程管理システム「AIQ Ver11.1」新バージョンのご紹介」
CAD開発部 工程管理開発課 課長 田代 勝法 氏

◆株式会社セイロジャパン

「3次元樹脂流動解析による最新の成形技術への適用」
MoldexソリューションセンターMoldex課 課長 田中 久博 氏

「精肉振動切削による磨きレス鏡面加工
～Cimatronを使ったヘール加工～のご紹介」
CimatronSC SEチーム 村田 浩一 氏

「金属3Dプリンタ向けソフトウェア 3DXpertを使用し
Additive Manufacturingを製造で活用していきます。」
CimatronSC 部長 池澤 俊文 氏

◆ブルーム・ノボテス株式会社（小間番号 6A-621）

「加工&計測の複合化と機上自由曲面計測」
技術・サービス マネージャー 高坂 齊 氏

株式会社アマダマシンツール

「高生産性・自動化に対応する研削加工機能と加工事例の紹介」
研削技術部 研削実証加工GR グループリーダー 三谷 知範 氏

「バルスモーションを活用したヘリカルギアの冷間鍛造新工法開発」
プレス商品部 プレス販売技術GR メンバー 山本 一 氏

三菱電機株式会社

「ものづくり現場で活躍する超高精度ワイヤ放電加工機「MP D-CUBESシリーズ」/最新技術を搭載した新型次世代形放電加工機」
放電製造部 開発設計第一課・第二課

株式会社東京精密

「最新の三次元測定技術による射出成型品の生産効率化、及び、高精度かつ非接触測定技術のご紹介」
計測社 営業技術室 佐保 智英 氏 他

株式会社牧野フライス製作所

「Professional 6 オペレータを時間のかかる作業から解放する」

オープンセミナー 前回開講実績

三菱日立ツール株式会社

「金型加工の更なる高精度・高効率化を実現する最新切削工具」
グローバルソリューションセンター 主任技師 城戸 好信 氏

株式会社ナノソフト

「3DQuickPressと3DSimSTAMPで変えるプレス金型設計」
大町 勝一郎 氏

株式会社JSOL

「板金プレス・鍛造シミュレーションの活用術と事例紹介（JSTAMP、AFDEX）」
エンジニアリングビジネス事業部 杉友 宣彦 氏

オーエスジー株式会社

「ねじ切り最新工具 ワンレボリューションスレッドミル AT-1の紹介」
開発グループ 穴開け開発チーム 依田 智紀 氏

株式会社ユーロテック

「アリコナ社製非接触三次元測定機を用いた革新的な工具測定」
営業チーム 泉 幸治 氏

「金型におけるガイド部品の重要性と部品選択のポイント」
営業チーム 主任 中道 浩貴 氏

コダマコーポレーション株式会社

「最新CAD/CAM活用セミナー」
「TOPprogressによるプレス金型設計・製作の効率化事例」
小金 佑介 氏

JFE精密株式会社

「JFE精密のPVDコーティング」
技術部 部長 桜井 雅彦 氏

日工機材株式会社

「～ジェイコア～加工段差ゼロの実現」
営業部 係長 平 信行 氏

「アイトロニクス「世界初フルデジタル形放電加工機」のご提案。」
株式会社アイトロニクス 藤本 尚也 氏

株式会社SCREENホールディングス

「目視検査を自動化する
「車載用金属部品向け外観検査装置 IM-3200-IM-5100」
のご紹介」
検査・計測事業室 営業・マーケティング課 杉本 氏 他数名

株式会社データ・デザイン

「3Dアディティブの次なるステージへ」
セールスユニット企画G マネージャー 今田 智秀 氏

柳下技研株式会社

「ELID研削法の平面研削盤への適用について」
YGテクニカルセンター ELID研削技師 一瀬 哲也 氏

株式会社テクノクラーツ

「次世代アンダーカット成形ユニット“すっぽん”」
代表取締役 反本 正典 氏

ダイジェット工業株式会社

「高能率切削加工を実現する最新切削工具」
技術部 室長 行成 伸二 氏

バルステック工業株式会社

「残留応力測定装置の原理と測定事例」
営業部 営業1課 主任 増井 貴 氏

南海鋼材株式会社

「金型・治工具への高硬度耐熱パウダーの自動肉盛り」
PPW製品開発室 山崎 貴司 氏

ベントム工業株式会社

「現場の実情に合った工程管理」
シンクビジョン株式会社 ソリューション事業部 マネージャー 地曳 淳 氏

主な出展規程

1. 出展料金の請求と支払い

事務局が出展申込書の記載事項を確認の後、出展者に出席料金の請求書を送付します。出展者は、請求書記載の期日までに出席料金全額を事務局指定の口座へ振込むものとします(お支払いは銀行振込みのみで、手形・小切手・直接現金でのお支払いは受け付けておりません)。なお、出席料金を含め本展示会に関する全ての請求についての振込手数料は出展者が負担するものとします。

2. 出展申込みの受理、成立日期について

出展者が事務局の定める手続きを行い、その出展申込書(申込みシステムの利用、出展申込書の郵送、ファックス、eメールなど)を事務局が受領した時点で申込成立とします。ただし、出展内容が展示会趣旨にそぐわない場合や出展資格を有しないと事務局が判断した場合は出展をお断りする場合があります。

3. 出展申込の取消(キャンセル)

- (1) 出展申込の取消または申込内容の変更は原則として認めませんが、やむなく出展の取消もしくは申込内容の変更(出展小間数の一部キャンセルなど)を行う場合には、その理由を明記した文書を事務局に提出し、承諾を得てください。
- (2) やむなく出展の取消もしくは申込内容の変更を行う場合には、その時期に応じて下記の出席取消料をお支払い下さい。なお、下表は事務局が出展者からの取消・変更通知書面を受領した日を基準とします。

書面による取消・変更通知を受領した日	出席取消料
出展申込日～2018年12月21日	出席料金の10%
2018年12月22日～2019年1月7日	出席料金の50%
2019年1月8日～2019年1月31日	出席料金の75%
2019年2月1日以降	出席料金の100%

- (3) 出展者が上記相当金額を支払っていないときは、取消通知後、直ちに支払うものとします。出展者が既に支払った金額が上記相当金額を超過している場合は、超過分を事務局より返金します。この場合、振込手数料は出展者の負担とします。
- (4) 事務局は、次に該当する場合、出展者に対し、何らの予告無しに出展を取消することができ、また、出席料金全額をお支払いいただきます。この場合、事務局は当該場所を適切な方法で使用することができるとします。
 - ① 2019年1月31日(木)までに出席料金を完納しない場合
 - ② 事前申告なしに搬入日の2019年4月16日12時まで小間の使用を開始しない場合
 - ③ 出展規程および関連規程に記載の事項に違反し、事務局の催告によっても改善が認められない場合

4. 小間位置の決定

- (1) 小間の位置は、出展物の内容、申込順位、出展実績、会場全般の構成、実演の有無などを考慮して事務局が行い、後日通知します(予定)。出展者は小間の割当について、苦情や出席取消等を申し出ることはできません。
- (2) 主催者は、消防法令上または出展者の展示効果向上のために小間図面を変更し、それに伴い小間を再配置することができます。その際、出展者は小間位置変更に関する損害賠償請求はできないものとします。

5. 小間の転貸等の禁止

出展者は、割り当てられた小間の全部または一部を第三者に譲渡・貸与もしくは出展者相互において交換することはできません。

6. 共同出展者の取り扱い

2社以上の会社が共同出展をする場合は、原則として1社が代表して申し込むものとし、出席料金などの各請求をはじめとする事務局からの全ての連絡は、申込者の実務担当者へのみ通知するものとします。なお、共同出展する社名などを申込時に事務局へ通知するものとします。

7. 出展物および展示装飾・実演に関する規制と撤去・搬出

- (1) 小間内の出展物および装飾物等が、後日事務局より通知される期日以内に撤去・搬出されない場合は、出展者の費用負担で、事務局により撤去・搬出できるものとします。
- (2) 展示ブース内の実演において、本展示会に出展していない企業の機械・製品を使用することは禁止いたします。
- (3) いかなる方法でも、近隣の小間の妨げとなる小間の造作はできないものとし、近隣小間の出展者から苦情がでた場合、事務局が展示会運営上の立場から判断し、小間装飾などの変更が必要と判断した場合は、当該小間の出展者はその変更へ同意するものとします。この場合に発生する費用は、出展者の負担とします。
- (4) 事務局は展示会開催趣旨・目的などの観点から問題があると思われる出展物の展示や装飾に関して規制または撤去する権限を有するものとします。この場合、事務局は出展者に対して輸送・展示費用などの負担や出席料金などの返金について一切の責任を負わないものとします。

8. 出展物の管理と免責

主催者は、出展物の管理・保全について警備員を配置するなど会場全般の管理・保全にあたりますが、出展物への天災、不可抗力、盗難、紛失などあらゆる原因により生じる出展物への損失または損害についてその責任を負わないものとします。出展物、備品の管理は出展者の責任の下、万全を期して行って下さい。

9. 損害賠償

出展者は、出展者自身または出展者指定の業者などの代理人の不注意、その他の理由により、展示会場設備または展示会建造物もしくは人身などに対して与えた一切の損害について責任を負うものとします。出展者は保険へ加入するなど、十分な対策を講じて下さい。

10. 展示会開催の変更・中止

- (1) 主催者は、天災、その他の不可抗力により会期・会場を変更、展示規模の縮小、または開催を中止することがあります。主催者は、これによって生じた損害の補償や費用の増加、その他不利な事態に陥るなどに対する責任を負わないものとします。なお、展示会開催を事前に中止した時は、既納出席料金より既発生費用を控除した残額の一部を返金します。
- (2) 出展申込みは、変更された会期等について有効とし、会期変更などを理由として出展を取消することはできません。

11. 規程の遵守

出展者は本出展規程をはじめとする主催者が定める諸規程を遵守することに同意のうえ出展申込みをするものとし、この点において将来いかなる時点においても一切の異議を申し立てないこととします。出展者は主催者が定める全ての規程を本展および出展者の利益保護のためのものと解釈し、その実行に協力するものとします。

お問い合わせ

インターモールド振興会

〒540-0008 大阪市中央区大手前1-2-15 (株)テレビ大阪エクスプロ内

TEL : 06-6944-9911 FAX : 06-6944-9912

E-mail : infoim2019@tvcoe.co.jp